

2024年7月17日

鹿児島大学病院脳神経外科初診時に頭痛を認めた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

頭痛に関する予後調査

【研究の目的】

頭痛はごくありふれた症状で、患者さんの生活の質を低下させる症状の一つです。またひとくちに頭痛と言っても、脳に原因がある二次性頭痛、明らかな原因のない一次性頭痛と様々です。一般に頭痛の改善を主たる目的に外科的介入を行うことは少なく、頭痛が病気に関連していた場合も、その転帰は不明なことが多いとされています。外科治療介入後の頭痛転帰を確認し、生活の質への影響を検証し、今後の治療に活かすことを目的とします。

【研究の方法】

鹿児島大学脳神経外科初診時（外来受診時、あるいは外来を経由しない直接入院の場合は入院時）に診療の一環としてお答えいただいております頭痛に関する

アンケートについて、その回答内容から本研究に活用できる情報を取得させていただくとともに、頭痛を有していた方については頭痛の経過に関するカルテデータからも情報取得を行わせていただきます。

初診時に頭痛を有していた患者さんのうち、

- ① 何らかの原疾患に対する治療の一環として当科に通院、経過観察が必要となった場合、外来受診のタイミングに合わせ、日常診療の範囲内で頭痛の症状に関しても経過観察を行います。（あくまで原疾患に対する日常診療の範囲内で行います。原疾患に対する経過観察が終了した時点で頭痛の経過観察も終了します。頭痛の経過観察は最長で5年程度を見込んでいますが、経過観察期間中に頭痛が増悪した場合、内科的治療で対応可能な頭痛であれば、ご希望に合わせて頭痛専門外来の受診が可能です。）
- ② 外科的な介入を要する疾患がなく、頭痛専門外来で何らかの内科的治療を行った場合は頭痛治療の一環として頭痛の性状の経過観察を行います。（経過観察期間はかかりつけ医選定までの期間で、最長で3年程度を見込んでいます。）

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2030年12月31日

【対象となる患者さん】

2015年1月以降に、鹿児島大学病院脳神経外科初診時に頭痛があった患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

症状改善度、治療介入手段等

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院 脳神経外科 助教 花田 朋子

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口 照人

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

助教 花田 朋子

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041